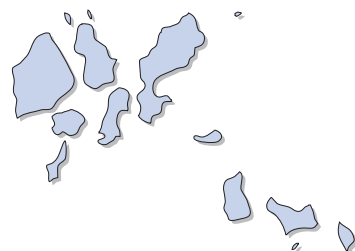


上島町

7月8日
～8月3日

第1回全国離島交流中学生野球大会

7月25日～28日の4日間、東京都伊豆大島で「国土交通大臣杯第1回全国離島交流中学生野球大会」が開催され、上島町から中学校合同チーム「KAMIIJIMA」のほか、北は北海道の奥尻島から南は鹿児島県の屋久島まで、離島の10チームが参加しました。この大会は、「野球を通して島同士の交流を図ってほしい。」と、「まさかり投げ」で知られた元プロ野球選手・村田兆治さんが発起人となって行われました。「KAMIIJIMA」は、初戦で三宅中学校野球部と対戦し、13対0で勝利しましたが、準決勝で伊豆大島選抜に0対8で惜しくも敗れてしまいました。しかし、選手達はこの4日間で、村田さんの激励あふれるメッセージ講演を聞き、村田さん率いる「まさかりドリームス」の元プロ野球選手による野球教室や親善試合など貴重な経験をする事ができました。

離島甲子園に参加して

【岩城中学校】

◇壇上寛行 3年生最後の試合だったけど、自分たちの力を出し切れた。高校でも頑張りたい。試合では4つ盗塁することができた。また村田さんの話からはたくさん学んだ。

◇村上佑治

特に村田兆治さんたちに野球を教えていただいたことが、とても心に残りました。

◇山本悠理

中学校最後の試合で1勝することができて、とてもうれしかったです。

◇古本大地

野球教室で、バッティングやピッチングなどを教えてくれたのが良かったです。

◇古本勇気

合同チームで試合をして、他の離島の人たちとも交流できて良かったです。

◇幸本竜弥

野球教室で学んだ守備やバッティングをこれからの試合で生かしたいです。

◇田中一翠

自分たちの力を出し切って3位になることができたので良かったです。

◇田中真聖

試合に負けたときは悔しかったけど、色々な体験ができて良かったです。

◇林 真史

元プロの人たちにアドバイスをもらい、最高の体験がすることができました。

◇古林和真

野球教室で教えてもらったことを生かして頑張っていきたいです。

◇金井優太

全国の離島の選抜チームを見ることができて、本当によかったです。

◇新川翔太

走・攻・守とも、とてもレベルの高いプレーを見ることができて良かったです。

【弓削中学校】

◇池本雄飛 中学野球最後の大会でいい思い出をつくることができました。

◇田中 連

チームが3位になることができてうれしかったです。

◇藤川太志

大会では、1勝することができたので良かったです。

◇佐伯流星

あきらめず、何にでも挑戦することの大切さを学びました。

◇田中翔太

チームで協力することの大切さを学びました。

◇永本迪隆

野球教室では、話をしっかり聞くことの大切さを学びました。

◇西中一馬

野球教室ではキャッチャーの守備について多く学ぶことができました。

◇村上朋也

優勝することはできなかったけどいい体験がすることができました。

◇竹内哲也

一回戦で三ベースヒットを打ててうれしかったです。他のチームの人たちと友達になれて良い思い出になりました。



子どもミニ島体験キャンプ

7月22日から25日までの4日間、佐島、津波島、弓削島の3島を巡る「子どもミニ島体験キャンプ」が開催されました。

このミニ島体験キャンプは、都会と地元の子どもが、上島の自然の中で地域の方々との交流や仲間同士での助け合いの中から、自立した精神を養うことを目的として、今回で2回目の開催となりました。

今回参加した子どもたちは、上島町から11名、大阪府や広島県など町外の子どもたち10名、総勢21名で、小学校3年生から中学校1年生までの年齢層の参加がありました。

また今年も、文部科学省所管 財団法人「育てる会」の職員を指導者として迎えて行われました。

初日には、開村式やカヌー体験そして、これから四日間使う竹の箸づくりが行われ、二日目には、無人島の津波島で釣り・素潜りなどの日帰りキャンプや民泊による島体験、三日目には、佐島沖浦の海岸で釣りや地引網体験が行われ、希望者はテントキャンプ体験を行いました。最終日には、仲間とのしがき交換や開村式が行われました。わずか四日間ですが、子どもたちは真っ黒に日焼けし、たくましくなっていました。



上島架橋促進協議会総会

7月29日、岩城生活文化センターにおいて、第4回上島架橋促進協議会総会が開催されました。

まず、上村会長と藤崎今治土木事務所長から挨拶があり、今治土木事務所建設企画課長と上島架橋建設課長から架橋の現況説明を受けました。

その後、平成19年度事業報告及び決算報告、平成20年度の事業計画及び予算案の承認を行い、今後の活動として、岩城橋早期実現のための要望書を各関係機関へ提出することを決定しました。



B&Gゆげ海洋クラブ

結団式

7月20日、松原海水浴場において、B&Gゆげ海洋クラブの結団式が行われました。

今年は子ども会員25人、成人会員16人でカヌーやヨットなどの海洋スポーツやスキー体験等の活動を計画しています。



婦人教育指導者東予地区研修会

7月11日、せとうち交流館において、平成20年度婦人教育指導者東予地区研修会が開催されました。

これは、婦人団体の指導者を対象に、婦人に関する今日的な課題や今後の婦人会活動の進め方について研修するため「地域社会の発展と進化のために、楽しく、優しく、力強く」を研究テーマに、愛媛県連合婦人会の主催で、東予地区の上島町、今治市、四国中央市、新居浜市、西条市の婦人会員や市町教育委員会担当者など約230名が参加して行われました。



第23回かみじま ふるさと夜市

8月2日、弓削港緑地公園周辺において、今年で23回目を迎えたかみじまふるさと夜市が上島町商工会の主催で開催されました。

今年も生名・岩城・魚島地区から大勢のお客さんが訪れました。夜市のオープニングは夕日を背に弓削六鼓人による太鼓演奏が行われました。



その後、餅まきでかみじまふるさと夜市が始まり、ステージでは、勇壮な太鼓演奏の外に、子どもリズム体操、ゆかた抽選会などの催しが行われました。

夜店には、各地区や各種団体の特色を活かした様々な品々が所狭しと並び、どのお店も大変賑わっていました。

また、夜市を締めくくる1,300発の花火が次々と打ち上げられ、観客も夜空を彩る迫力満点の花火に歓声を上げていました。



弓削地区

弓削高校音楽部

サマーコンサート

7月19日、せとうち交流館において、弓削高校音楽部によるサマーコンサートが開催され、学校関係者や地域の方たち約150人が集まりました。

これは、8人のメンバー中5人いる3年生が引退する前に演奏会を開催し、地域の方たちに少しでも楽しんでもらいたいという思いで、初めて行われました。

8人は楽しそうに計8曲を披露し、観客は、すばらしい演奏に聞き入っていました。



弓削高校 清掃活動

7月15日、弓削高校では、毎年恒例の地域の清掃を行いました。

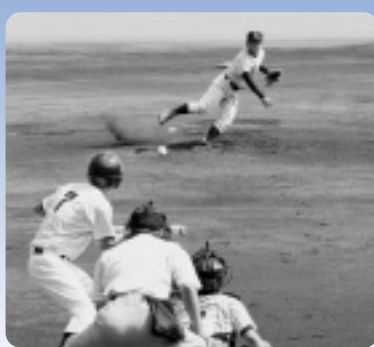
今年は、弓削港・松原海水浴場・海光園・岩城港の清掃活動を行い、その辺り一帯は大変美しくなりました。



弓削島ダービー

7月14日、今治市営球場において、全国高等学校野球選手権愛媛県大会が行われ、弓削島ダービーとなる弓削高校と弓削商船高専の試合が行われました。

試合は4対21で弓削商船高専が勝利しましたが、両校とも最後までさすがにいいさやかなプレーを魅せていました。



弓削商船高専出前教室

7月14日、弓削中学校において、弓削商船高専主催で「環境問題と燃料電池」と題して講座型学習活動が行われました。これは、サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト事業の一環として、中学生に科学技術、理科・数学に関する興味・関心と知的探究心を育成することを目的に行われました。

今回は、三年生を対象に、船から出る廃油の汚れの測定や、水素を使った燃料電池や太陽電池で動く車の作製など、最新の環境問題に対する話が行われ、生徒たちは、科学技術への興味や関心を深めることができました。



マダイの稚魚放流

7月8日、豊島沖において、弓削漁業協同組合によるマダイの稚魚の放流が行われました。この日は、約8cmほどに成長した稚魚3万匹を放流しました。皆さん、この稚魚は貴重な水産資源です。稚魚の保護にご協力をお願いします。



松原海水浴場 海びらき

7月14日、弓削神社において海水浴シーズンを迎えた松原海水浴場の安全祈願祭が行われました。

また、20日には海びらきイベントが行われ、弓削六鼓人の太鼓演奏で始まりました。

続いて、岩城・弓削混合のフラダンスの踊りが披露されました。

その後、会場では鯛のつかみ取りとビーチフラッグ、そしてビーチバレーボールが行われ、大変盛り上がりしていました。



上弓削地区 精霊流し

7月24日、上弓削港周辺において、精霊流しが行われました。この行事は、上弓削地区の伝統行事として毎年地蔵盆の日に行われており、子どもからお年寄りまで、たくさんの人たちが参加していました。

住職の読経が終わると精霊船「極楽丸」を先頭に灯ろうが次々と海に流されて行きました。



定置網体験

7月27日、弓削漁業協同組合青年部主催で定置網体験が行われ、10名の小学生が参加しました。

これは、漁業の楽しさや近海でどんな魚が獲れるか、また、海の中がどれだけゴミで汚れているか勉強してもらうために行われたものです。

参加した子どもたちは、獲れた魚の名前を聞いたり、みんなで協力しながら慣れない手つきで魚をさばきました。



弓削招待サッカー大会

8月2日、弓削小学校グラウンドにおいて、弓削サッカースポーツ少年団主催による第30回弓削招待サッカー大会が開催されました。今年も今治市・尾道市からの参加があり、5チーム総当たりでの熱戦が繰り広げられました。暑い中、どのチームの子供たちも一生懸命ボールを追いかけて、白熱した試合が繰り広げられました。



ゆげシーサイドフェスティバル

8月3日、松原海水浴場において、上島町商工会弓削青年部主催による第11回ゆげシーサイドフェスティバルが行われました。

今年は町内や近隣市町はもちろん、東京都や滋賀県などから38チーム約190人が参加しました。

この日は、風が強く棄権するチームが続出しましたが、瀬戸内最強小学生を決めるレースとあって、参加者は白熱したレースを繰り広げていました。

なお、瀬戸内最強小学生は、広島県三原市のブラックスシャークチームでした。



生名地区

弓削中学校櫓漕ぎ大会!

7月17日、旧生名中学校前の海岸において、夏の恒例行事である櫓漕ぎ大会が行われました。

この櫓漕ぎ大会は、大本大徳さんの息子さんが「お世話になった地域の方にお礼がしたい。」と船二隻を生名中学校に寄贈され、「島の子であれば船が漕げるようになってほしい。」と昭和62年から始まりました。そして、弓削中学校と統合した後も、大切にしたい伝統行事として継続されることになり、今年で22回目の開催となりました。生徒たちは、漕ぎ手を順番に交代しながら、力強く櫓を漕いでいました。そして、組対抗レースのほかに教員や保護者とのレースも行われ、大変盛り上がり上がっていました。



食育教室 ぱくぱくキッズ

7月23日、生名保育所において、「ぱくぱく・きつず」を開催しました。今回は「生名の食べ物を知ろう!」をテーマに、ヘルスメイトさん(町保健栄養推進協議会員)から生名でとれる海草について教わりました。まずは、テングサを煮てフルーツかん作り。次に、用意してもらったヒジキ・モズク・イギスなど干した海草と料理したものを観察しました。「ばあちゃんが家で作っている」という子もいましたが、家庭で海草を採ったり料理したりする機会が減っている中、園児は珍しそうにいろいろな海草に触れていました。これからも地域の食材や食文化を、子どもたちに伝えていきたいです。



クロッケー親善試合開催

7月25日、生名ゲートボール場において、クロッケー親善試合が開催されました。猛暑にも負けず、「ひさご会」4チーム「婦人会」4チームの全8チームが熱戦を繰り広げとてもよい交流試合ができました。

「暑いねー。」と声をかけると

「頑張らなくっちゃ!」と返事がかえってきました。練習は、毎日午後1時30分から4時まで生名ゲートボール場で行っていますので、興味のある方は一緒に練習しませんか。



岩城地区

岩城老友会カラオケ部 寿カラオケ大会で熱唱!

6月22日、今治市総合福祉センターにおいて今治市社会福祉協議会主催の第20回「寿カラオケ大会」が開催され、岩城老友会と弓削老人クラブから各5名が参加しました。

この大会の参加資格は、65歳以上であることや歌詞は全て暗記していること等と厳しい条件があります。日頃からカラオケを楽しみ、練習成果を発表する場として参加しました。

結果は、団体の部で岩城老友会が第3位に入賞。個人の部で岩城老友会の仁木多喜子さんが5位に入賞、弓削老人クラブの澤井一磨さんが熱演賞に輝かれました。これからも、大いに楽しみ、いつまでも元気で活躍してください。



魚島地区

みんなで風船ロケットを飛ばそう!

8月1日、「みんなで風船ロケットを飛ばそう!」と題し、夏休み子ども教室が、愛媛県総合科学博物館より講師をお招きし開催されました。今回は、様々な風船に空気をつめて飛ばしながら、空気の性質を探り、風船を遠くに飛ばすにはどのようにすればいいかを考えながら実験し、よく飛ぶ風船ロケットを作りしました。参加した子供たちは、友達同士で競い合ったり、ごみ袋をつなげて巨大風船ロケットに挑戦したりして楽しんでいました。笑顔あふれるにぎやかな教室となりました。



魚島保育所夕涼み会

8月1日、魚島保育所において夏のお楽しみ「夕涼み会」が行われました。お父さん、お母さんと一緒にゲームや花火、肝試しなどをして楽しみました。肝試しでは恐怖のあまり泣き出す園児もいましたが、花火をしていくうちに笑顔がいっぱいあふれだし、子どもたちには楽しい思い出の「夕涼み会」となりました。

